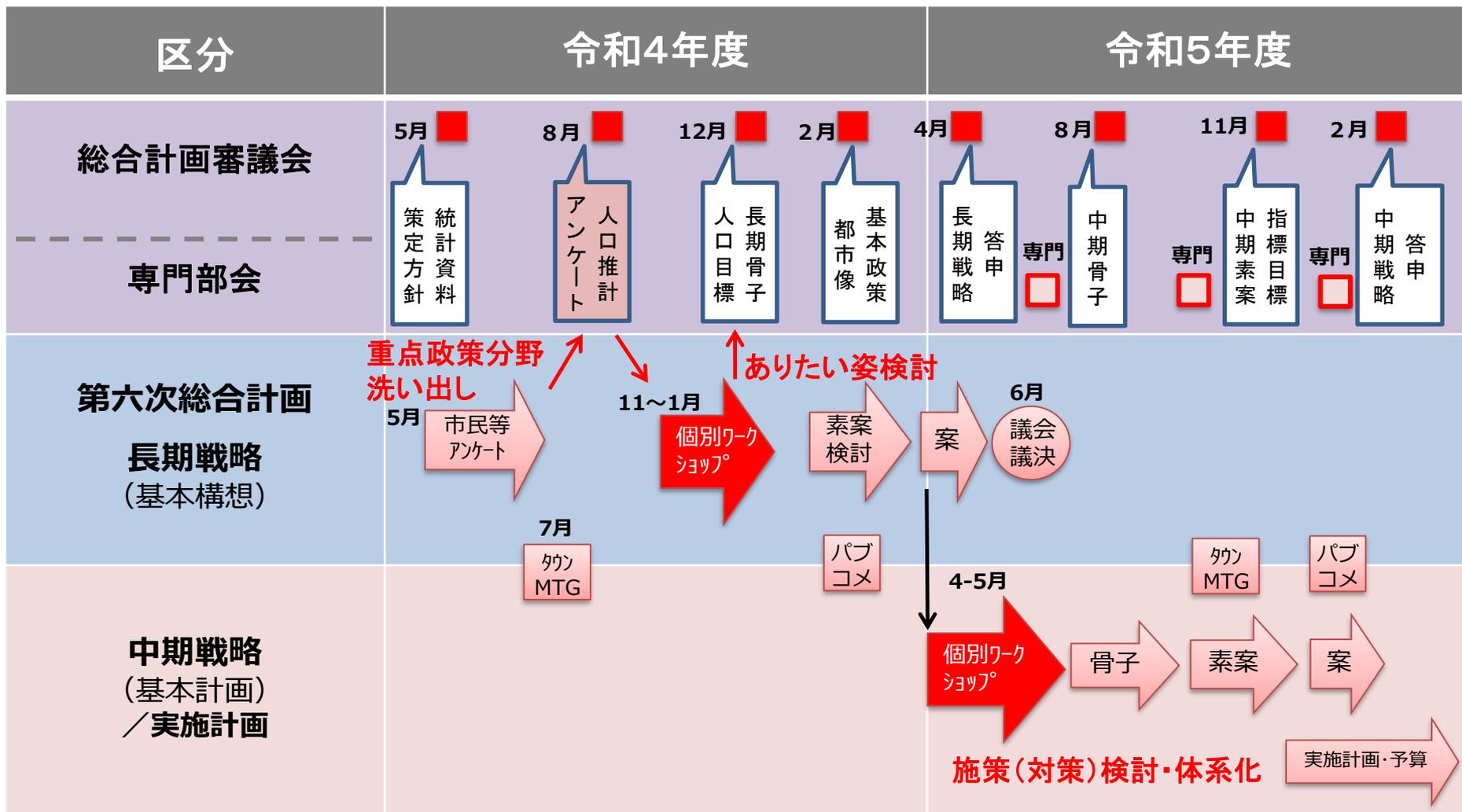


計画策定に関する今後のスケジュール

【資料 2】

- 市民アンケートの結果や、審議会で検討されたキーワード、市長マニフェストなどを元に重点政策分野を洗い出し、これを具体化していく「個別分野のワークショップ」に繋がります。
- 改めてご案内いたしますので、各委員には個別分野ワークショップへのご参画をお願いいたします。



個別分野ワークショップ(R4下半期)検討案

■ 目的

- ①政策分野（10程度）における**ありたい姿の具体化・共有**
- ②政策分野における**現状とのギャップの確認、課題の抽出・絞り込み**

■ 対象 関係団体、分野有識者、審議会委員、有志市民、庁内策定チーム員

■ 期間・回数 令和4年11月～令和5年1月の間に、各政策分野2回程度

■ 実施方法

- ・開催場所：課題当事者や関係団体の活動場所など検討
- ・成果物：各政策分野の**ありたい姿とギャップ・課題のキーワード・指標**
- ・内容：導入（位置付け、マインドセット、ルールなど）
政策分野の目指す姿の具体化・指標化
ギャップ・課題の洗い出し・関係性の検討・絞り込み

■ その他 審議会委員も参画を依頼したい（ただし参画任意）

個別分野ワークショップ(R4年11~R5年1月)で求める成果とその反映

市民アンケートや、市長マニフェスト、審議会意見などをもとに、個別分野のワークショップを開催し、基本戦略の記載事項を作成していく

- **【長期戦略】**では**基本戦略の背景・目的と「ありたい姿」**を中心に記載する
- **【中期戦略】**へ、より具体的な内容を厚く反映する

第五次総総合計画【長期戦略】

基本戦略

(1) 基本戦略の役割
基本戦略は、都市像実現のために重点化する取り組みの展開方針の基軸となるものです。基本戦略は、行政に対しては3年を1サイクルとする中期戦略を策定、実施、評価するための基本指針であると同時に、行政が地域の多様な主体と協働で推進する重点分野を示すものです。
長期戦略と中期戦略の関係と事業化までの流れ

(2) 基本戦略の成果指標
総人口 65,000人以上 (令和5年)

基本戦略は、目指す都市像「暮らしやすさ 未来につなぐ田舎」を実現するために展開するものです。基本戦略の内容は多岐にわたる指標として総人口を掲げます。今後、本市においても、生産年齢人口を中心とした政策的誘導を促進し、各指標に定め、地域の活力を維持していきます。

総人口・年齢区分別人口の推移

総人口の増減・政策誘導の目標

(3) 基本戦略
基本戦略は、本市の強みを最大限に生かし、暮らしやすさに着きとシニアをターゲット(顧客)とします。以下の3本の戦略投入し、行政内の部門を超えた連携と、多様な主体との協働により

- 基本戦略A: 子育て世代に選ばれる地域の創造
 - ①子どもを産み育てる環境の整備
 - ②教育再生による確かな成長の支援
- 基本戦略B: 住みよい持続可能な地域の創造
 - ③産業振興と就業機会の創出
 - ④地域資源を生かした文化の推進
 - ⑤域内循環システムの形成
 - ⑥危機管理の強化と社会基盤の最適活用
- 基本戦略C: シニア活躍の促進
 - ⑦生涯学習の推進
 - ⑧生涯学習の推進
 - ⑨健康寿命の延伸

子育て世代 産業・地域の担い手

基本戦略を包括し機動的に推進するプロジェクト

- ⑩地域ブランド「プロモーション」
- ⑪地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の醸成づくり

基本戦略 A

子育て世代に選ばれる地域の創造

(1) 現状と課題
本市は、20歳代後半から40歳代の層が厚く、県内で最も生産年齢人口割合が高い市です。しかし、最近では、団塊世代の高齢化や人口の社会減等から、現役世代の比率の低下は避けられない状況です。このまま現役世代の減少が続くと、将来的に地域の活力が低下し、地域全体の持続可能性の確保が困難になることが懸念されます。

(2) 目的
安心して子どもを産み育てる環境の整備や子育ての負担軽減、確かな成長を支える教育環境の整備など、子育て、教育環境の一層の充実を図り、20~40歳代の子育て世代を中心に、選ばれる地域を目指します。

(3) プロジェクトによる展開
以下のプロジェクトを部門横断的な事業展開によって推進します。

プロジェクト 1	子どもを産み育てる環境の整備	子どもを安心して産み育てられるよう、子育てに対する保護者の負担の軽減や、仕事と子育ての両立を支援する環境を整えます。
プロジェクト 2	教育再生による確かな成長の支援	恵まれた教育環境のさらなる充実を図り、きめ細かく特色ある教育による、平等な学習機会の提供と確かな学力の向上を推進するとともに、地域等と連携して子どもたちの「生きる力」と「輝く力」を育成します。

「ありたい姿」を起点的名称・記述とする

【中期戦略】

プロジェクト

1 子どもを産み育てる環境の整備

【長期戦略目標】
若い世代が出産や子育てに希望を持って地域へ
本市の子育て環境は、他都市に比べて高い水準にあると評価されています。しかし、子育て世代の核家族化や共働き家庭の増加などに伴い、子育てに係るニーズは拡大かつ多様化する傾向にあり、きめ細かな対応が求められています。次世代を担う社会の宝である子どもたちが健康やかに成長できるよう、また、子育てをする家庭が仕事との両立を図ることができるよう、子育ての一義的な責任は家庭にあることを基本としながらも、出産や育児にかかる家庭の負担を軽減し、若い世代が出産や子育てに希望を持って地域の実現を目指します。

【長期戦略が描く未来の姿】

- 出産・子育てをしやすい環境の実現
妊娠、出産に対する支援、養育に関する支援などが子育ての負担感や不安感を軽減し、出産や子育てに希望や期待を持っている家庭が増加しています。
- 多様なニーズに応えた子育て支援体制と子どもの健やかな成長の実現
家庭と子どもを取り巻く環境の変化と、本市の実情に対応した保育・教育の提供体制が確保されています。子どもの健やかな成長を支えることが家庭・地域・企業の活力の源となっており、子育て環境が実現しています。

現状とのギャップ・課題の記述を増やす

- ・ 次の3-4年で解決・改善したい課題を明確に記述する
- ・ 文章だけでなく、グラフや図解を作成し、課題を可視化する